

## 平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード	3-2-3		事業名	芸術の森園路等バリアフリー化事業
担当	観光文化局文化部市民文化課 木村 Tel:211-2261			
全 体 計 画				
事業内容	<p>札幌芸術の森の各施設を繋ぐ園路には、未だバリアフリー化されていない箇所があり、特に各施設を結ぶ導線は石畳が多く、段差や凹凸があるため、園路舗装を見直し、移動を円滑に行えるようとする。</p> <p>また自然を活かしたロケーションから、施設間の高低差があるにも関わらず、階段には手すり等の設備がないため、危険な状態であることから、階段等に手すりを設置するとともに、階段の材質・形状を見直し、バリアフリーな施設に改修する。</p> <p>野外美術館については、オープンから20年が経過し、各作品を繋ぐ導線園路の傷みが激しく、段差や凹凸が多くなっている。特に雨天時には剥き出しの土の歩道である部分が泥濘化することから、導線を水はけのよい舗装や、周囲の環境に調和したウッドチップなどで整備するとともに、車椅子やベビーカーでも奥地まで回れるよう、園路の再整備を行う。</p> <p>①各施設間導線園路の改修 ②つづら折階段の手すり設置及び階段の改修 ③野外美術館内園路の再整備</p>			
事業内容・量・場所	<p>平成19年度事業内容(決算)</p> <p>予算化されなかったため、実施せず。</p>		<p>平成20年度事業内容(決算)</p>	
規模・件数等	<p>平成21年度事業内容(決算)</p> <p>別予算により、野外美術館入り口から佐藤忠良記念子どもアトリエまでの園路の舗装工事を行った。</p>		<p>平成22年度事業内容(決算)</p> <p>別予算により、劣化が進んでいる石階段や石垣等園路周辺の改修、つづら折階段の手すり設置及び階段の改修、照明の改修、新設に向けて、詳細設計を行った。</p>	

## 平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	3-2-3		事業名	芸術の森園路等バリアフリー化事業			
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (実績)	22年度末 (実績)	22年度末 (目標)	
バリアフリー化工事	—	—	未実施	野外美術館内園路舗装	園路改修のための詳細設計	実施(20年度)	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>■市民との連携、市民参加 (該当なし)</p> <p>■企業等との連携・協働 [資金協力](該当なし) [人材協力](該当なし) [情報協力](該当なし) [その他の協力](該当なし)</p> <p>■市民・企業等が参加しやすい環境づくり (該当なし)</p>							
評価(成果)	課題						
	芸術の森は傾斜が大きく、バリアフリー化するにあたっては、物理的な課題があり、低地部と高地部を結ぶためには、相当の延長が必要になる。特に野外美術館については、バリアフリー化するために大幅なレイアウトの変更が必要になる。						
今後の事業の予定・方向							
平成23年度に、石階段や石垣等園路周辺の改修、つづら折階段の手すり設置及び階段の改修、照明の改修、新設を行う。							

様式イ

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)